

# Janne Tateno

## VIOLIN RECITAL

### 2025

# ヤンネ 舘野

## ヴァイオリン・リサイタル 2025

フランツ・シューベルト：

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ(ソナチネ) 第2番 イ短調 D 385 Op. 137-2

Franz Schubert :

Sonata (Sonatina) for Violin and Piano No.2 in A Minor, D 385 Op.137-2

レオシュ・ヤナーチェク：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ

Leoš Janáček : Sonata for Violin and Piano

アルベルト・ヒナステラ：パンペアーナ第1番 Op. 16

Alberto Ginastera : Pampeana No.1 , Op.16

エドヴァルド・グリーグ：

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第3番 ハ短調 Op. 45

Edvard Grieg : Sonata No. 3 for Violin and Piano in C Minor, Op. 45



©大野智嗣

ピアノ：有吉亮治

Ryoji Ariyoshi, piano



Embassy of Finland  
Tokyo

**1.16** [木] 19:00 開演  
(18:30 開場 / 21:00 終演予定)

**東京文化会館 小ホール**  
(JR 上野駅公園口前)

19:00 Thu. Jan. 16, 2025 at Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

全席指定 一般 ¥4,000 (当日 ¥500 増) 学生 ¥2,000

[お申込み]

ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212 [www.japanarts.co.jp](http://www.japanarts.co.jp) ジャパン・アーツびあオンラインチケット 9月21日(土)

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 チケットびあ [t.pia.jp](http://t.pia.jp) [Pコード：276-846] イープラス [eplus.jp](http://eplus.jp)

ローソンチケット [l-tike.com](http://l-tike.com) [Lコード：31306]

一般発売 9月28日(土)

○チケット料金には消費税が含まれております。○特別割引料金につきましては裏面をご覧ください。○先行発売などで満席となった場合は、以降発売されない場合があります。

主催 | ジャパン・アーツ 後援 | フィンランド大使館 協力 | 舘野泉ファンクラブ

# JANNE TATENO

ヤンネ 館野 (1975年ヘルシンキ生まれ) Violin

5歳でヴァイオリンを始める。フィンランドにてユリ・ゲレツ、オーストラリアにてジュリアン・クイリット、ヘルシンキ音楽院にてシルッカ・クーラ、オルガ・バルホメンコ、ルーズベルト大学シカゴ芸術大学音楽院で森悠子の各氏に師事。室内楽を森悠子、イエルツィ・ゲベルト各氏に師事。オウルンサロ音楽祭(フィンランド)に、音楽祭オーケストラのコンサートマスター、室内楽奏者、バロックやタンゴ奏者として10年にわたり出演。シカゴでユーシア弦楽四重奏団(01年インディアナでのフィッシュ国際室内楽コンクール1位)の第2ヴァイオリン奏者として活動。05年丹波の森国際音楽祭シューベルティアータんばのメインアーティストとして招聘される。08年山形交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者になる。11年、22年東京文化会館にてリサイタルを行う。15年ヘルシンキにてウィルヘルム・ケンプのヴァイオリンコンチェルトを演奏。山形交響楽団と12年にモーツァルト、20年にシベリウスのヴァイオリンコンチェルトをソリストとして共演。20~22年に相馬泉美氏と、22~24年には大宅さおり氏とベートーヴェンのヴァイオリンソナタ全曲演奏会を完遂。23~24年相馬泉美氏とシューマンとブラームスのヴァイオリンソナタ全曲演奏会を完遂。24年南フランスにてセヴラック音楽祭に出演。

これまでに京都市交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、川崎室内管弦楽団など多数のオーケストラに第2ヴァイオリン客演首席奏者として出演。またソリストとして大阪チェンバーオーケストラ、東京エラート室内管弦楽団、山形交響楽団、長岡京室内アンサンブル、東京ユヴェントスフィルハーモニー、ラテンペスタ室内管弦楽団と共演。現在ヘルシンキを拠点とするラテンペスタ室内管弦楽団のコンサートマスターと音楽監督を務める他、山形交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者、森悠子主宰長岡京室内アンサンブルのメンバーとして、またバロックヴァイオリン演奏、アルゼンチンタンゴ演奏など幅広い活動を展開。横浜でアンサンブル MIDORI を結成し自主企画室内楽コンサートシリーズを続ける等プロデュースも行う。録音CD:

『Janne Plays Sibelius』『Monologo via Corda ~独絃哀歌』  
ホームページ: [jannetateno.com](http://jannetateno.com)

## Message from Janne

孤独で切ないシューベルトのイ短調ソナタは、限りなく優美で神秘的。繰り返し挑戦してもつかめないが、どうしようもなく惹き付けられ何度も弾きたくなる。今回もプログラムに入れた。

ヤナーチェクの物語的で特異な世界は、他のどの作曲家にも似ていないところがとてつもなく魅力的。しかしシューベルトとヤナーチェク2つの曲の世界観は親密であると感じる。

ヴィルトゥオーゾ曲で一番好きなヒナステラのパンペアーナは、ラヴェルのツイガーヌに似た形式で、アルゼンチンの草原に住むガウチョの激しいエスプリ、厳しい生活を表現している心を揺さぶられる曲。父が土産にくれた楽譜で、シカゴに留学中のリサイタルで初めて弾いた。

グリーグはノルウェーの自然が生んだドラマティックな世界。美しい満天の星空や、小さな小川が突如として山の頂上から降り注ぐ滝になる壮大な景色。森の中でトロールたちが戯れている、不可思議な世界へ誘われるような妖しい感覚。10代の頃、父がJan Söderblom(ヴァイオリン)とソナタ3番のCD録音をし、私は譜めくりを担当した。グリーグの世界を豊かに浴び、すっかり魅了された。

ピアニストの有吉亮治さんは音に凄く魅力を感じ、呼吸感、和声感が優れておられ、言葉よりも音楽で通じ合える素晴らしい芸術家。彼の存在はこのリサイタルの開催を決断するひとつのキッカケだった。

50歳になる節目に今までの集大成と、新しい一歩となるような演奏をお贈りできれば幸いです。

ヤンネ 館野



## RYOJI ARIYOSHI 有吉 亮治 Piano

東京藝術大学卒業後、文化庁新進芸術家海外研修員及びローム ミュージック ファンデーション奨学生としてジュネーヴ高等音楽院に留学。日本音楽コンクール第1位をはじめ、カントゥ国際コンクールなど国内外のコンクールに入賞。これまでに清水嘉子、谷康子、田辺緑、迫昭嘉、パスカル・ドゥヴァイヨン、ジャン＝クロード・ベヌティエの各氏に師事。在学中より日本ショパン協会主催例会リサイタルをはじめヨーロッパ各地、中東ヨルダンなど国内外で演奏活動を行うほか、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京交響楽団などと共演。室内楽においてはラ・フォル・ジュルネ、東京・春・音楽祭、ヴィオラスペースなどに出演し著名演奏家と共演。またピティナ、全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクールなどの審査員も務める。現在、桐朋学園大学音楽学部准教授。

©大野智嗣

■特別割引チケットのご案内 (ジャパン・アーツびあコールセンター及びジャパン・アーツびあオンラインチケットで受付)

学生券 \*9/21(土)10:00よりジャパン・アーツびあオンラインチケット、9/28(土)10:00よりジャパン・アーツびあにて受付を開始いたします。\*社会人学生を除く25歳までの学生が対象です。公演当日、入口または窓口にて学生証を拝見させていただきます。(学生証がない場合は一般料金との差額を頂戴いたします。)車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

<次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。>

- ①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。
- ②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。
- ③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。
- ④演奏中は入場できません。お時間には余裕をもってお越し下さい。

- ⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。
- ⑥全指定席です。券面に記載された指定の座席にてご鑑賞下さい。
- ⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。
- ⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- ⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。